9月	矢作川　愛護モニター報告	モニター区間	矢作川：左右岸　15.0km～21.0km 管轄出張所：岡崎・安城出張所
実施日	令和　7 年　9 月 1 日	実施区間	18.0K.m　～　20.0km

偲ばれる先人たちの苦労
「大正記念石碑」が語る
矢作川流域の
用水改修工事の歴史

「高橋用水完成(大正)記念碑
碑文等より抜粋）

9月1日（月）、矢作川左岸（18km付近）の堤防外にある石碑について調べてみました。碑文等から、概ね次のような用水改修工事の歴史が分かりました。

～高橋用水は、矢作川の左岸、高橋町地内を水源として西尾市吉良町に至るものである。用水路 は延長約5.1Kmにおよぶ農業用水路で、･･･合計444 ha の水田に水を供給している。

用水路は1882（明治15）年に計画され、1908（明治41）年から1911（明治44）年にかけて矢作川の取水口が大改修された･･。1944（昭和19）年12月の東海地震、1945（昭和20）年1月の三河地震により用水路は被害を受けたため、1948（昭和23）年から 10年をかけて再度改修工事が行われた･･･～　。

矢作川は自然と人間生活との調和を目指して、幾度となく、手が加えられてきたこ

堤防外で続く除草作業
心に残る雄大な川の流れと白い雲

９月とは言え、真夏のような青い空と白い雲が広がる矢作川でした。黙々と堤防の除草作業に励む人が心に残りました。

①矢作川と用水の歴史を伝える記念石碑

② 暑さの中、続く、堤防の除草作業

③ 穏やかに流れる雄大な矢作川

④朱色の橋脚の美矢井橋と
真夏のような空に広がる白い雲

河川愛護モニター	